

## 函館・大沼旅行（3）

7月30日（金）ウイニングホテルと同じ建物にあるレストラン ZOOT! - 函館 - (Ocean View Restaurant)で朝食をとった。建物の最上階にあり、函館湾を一望できるすばらしい眺めのレストランであった。



今日は大沼方面へ移動する日である。観光新聞に函館駅から森駅までSLが運行されていると書いてあったので、それを利用して大沼公園まで行くことにした。早速、タクシーで函館駅へ、9時48分発であったが車両整備のため約30分遅れで出発した。車内は空調されており快適であったが観光用にだるまストープが設置されていた。車掌は男女とも明治の洋風衣装を着て乗車券のチェックの他、子供たちの記念写真用にSL 函館大沼号と書いた枠を持参して回ってきた。カフェカーでは乗車記念グッズや飲み物を販売していた。大沼公園駅までにはいくつかのトンネルがあり機関士は大変であろうと思った。のどかな田園風景の中を列車は進み、11時前には大沼公園に到着。列車が遅れたため森駅での乗り継ぎ客が時間に間に合わなくなり、大沼公園駅で乗り継ぐこととなった。今日の宿泊先のクロフォードイン大沼は徒歩3分の静かなところにあった。



に合わなくなり、大沼公園駅で乗り継ぐこととなった。今日の宿泊先のクロフォードイン大沼は徒歩3分の静かなところにあった。

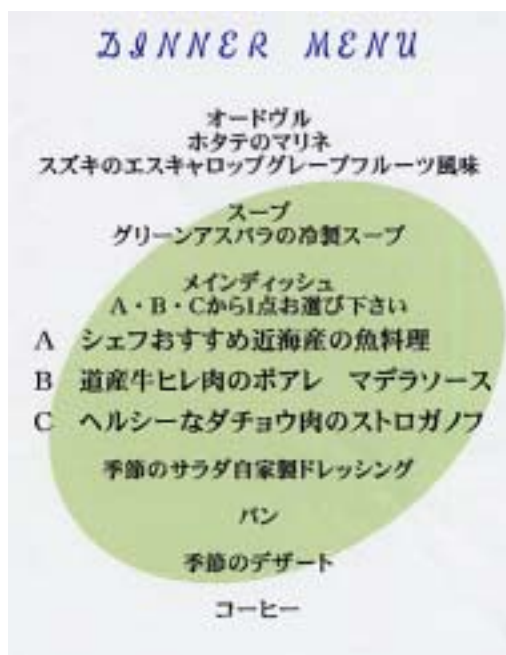
( <http://www.hopp.co.jp/crawford/> )  
「アメリカの家庭」を手本に、家具・インテリア製品は全てアメリカ製。気取らずアットホームな中に、ゆったりした華やかさがあるという説明の通り、小沼湖畔の広い林の

中に建てられていた。2日間ゆっくり過ごすために、デラックスツイン(43m<sup>2</sup>)を予約しておいて良かったと思った。JR東日本のパートナーホテルであることも到着して知って安心した。フロントで周囲の観光情報を聞いて、早速10時40分発の定期遊覧船に乗船し大沼と小沼を遊覧した。大沼などは駒ヶ岳の1640(寛永17)年の爆発によって折戸川がせき止められてできたという説がある。大沼は周囲26km、面積5.3km<sup>2</sup>、島々の数は81を数え、船はその間を進んだ。船上から見る駒ヶ岳は雄大であった。船は鉄橋と道路の下を通過して小沼へと進んだ。小沼は周囲16.3km、面積3.8km<sup>2</sup>、小島が33あるという。約30分の遊覧であったが湖上からのすばらしい眺めを満喫した。船を下りてから沼の家へ大沼だんごを食べに行った。沼の家は1905(明治38)年の創業、ひと口サイズのだんごは、あん、しょうゆ、ごまの3種類。タレに埋もれたようなだんごを楊枝で食べるのが特徴である。一旦ホテルに戻ってから夕刻に遊歩道を散策した。この散策路はJRの線路の



西側にあり、観光地の中心から外れていることもあり、ほとんど人を見かけなかった。自然大好き人間で少々冒険心のある人にお勧めのコースとのことである。遊歩道をしばらく行くと年配の女性写真家が撮影しているのに出会った以外、人に会わなかった。遊歩道は幾つかの沼の間を縫うように整備されていた。ヤチダモ、ツルアジサイ、スイレンなどが美しかった。美しい夕日が見られるスポットもあった。

5時30分からホテルのレストランで夕食をとった。メインに私は牛のヒレ肉、妻はダチョウのストロガノフ選んだ。コース全体非常に美味しかった。



## DINNER MENU

オードブル  
ホタテのマリネ  
スズキのエスキヤロップグレープフルーツ風味

スープ  
グリーンアスパラの冷製スープ

メインディッシュ  
A・B・Cから1点お選び下さい  
A シェフおすすめ近海産の魚料理  
B 道産牛ヒレ肉のポアレ マデラソース  
C ヘルシーなダチョウ肉のストロガノフ

季節のサラダ自家製ドレッシング

パン

季節のデザート

コーヒー